

陵水会の活動方針と事業計画(2025年度)(案)

〔Ⅰ〕活動の基本方針

(1) 大学を取り巻く厳しい環境変化に対応した的確な支援

- ・大学のポスト100周年計画と擦り合わせ、陵水会からの支援策を再精査
- ・共同研究などの斡旋を通じ、産学の連携推進を引き続き全面サポート
- ・1年制大学院、経営分析学専攻(MBANコース)の支援
- ・グローバル人材育成に向けた継続支援

(2) ポスト100周年を見据えた組織力の強化

- ・若手～中堅層及び女子メンバーの活力引き出し
— Next Ryosuiの活動を継続
- ・現役学生(準会員)や教員との交流促進を通じ、陵水会への理解を高める
— 体育系クラブ、文化系クラブ、同期会ネットワークとの連携強化

(3) 財務基盤安定強化

安定した財政基盤の確保

- ・年会費の納入納付率向上のための方策を検討
- ・クレジットカード(陵水会カード)の導入を引き続き検討
- ・入会金、年会費の引き上げを引き続き検討
- ・新しい収益源の確保を検討

〔Ⅱ〕大学支援・連携・交流事業

～各活動強化委員会の一層の充実～

(1) 産学連携の強化、促進を引き続き全面サポート(主担当:企画委員会)

- ・産学連携を一層推進するため、引き続き有力企業を発掘、斡旋
- ・文理融合教育の更なる充実のために、「一年制大学院」などを支援

(2) グローバル人材育成に向けての支援継続(主担当:教育支援委員会)

- ・海外留学奨学金の給付

(3) 魅力あるOB協力講義の継続(主担当:若手交流委員会)

- ・キャリアデザイン論に代わるリーダーシップ論の支援
- ・陵水人材バンクのあり方の見直し
— 大学のニーズに適う有力OBによる実践講義

(4) 就職支援(主担当:若手交流委員会)

各種就職相談会の開催 — 講師派遣や開催諸経費の助成

- ・陵水懇話会(担当:大学47回卒業生)
- ・新組織化された全国陵水会計人連合会による学生説明会
- ・女子学生のための陵水キャリアガイダンス
- ・「滋賀大学コミュニティ・プレイス@東京・汐留 KC BASE」の支援

(5) 陵水ゼミナール特別支援制度の継続実施(主担当:教育支援委員会)

- ・講師謝金・交通費の援助

(6)企業研究訪問援助制度の継続実施（主担当：教育支援委員会）

- ・学生、引率教員の交通費援助

(7)陵水会活動の更なる情報発信力の強化（主担当：広報委員会）

- ・陵水会年報の発送部数及びページ数の全面見直し、ホームページ、NextRyosui公式ホームページ・公式LINEなどの充実及び運用見直し

[Ⅲ] 陵水会事業

(1)若手会員（含準会員）の陵水活動への積極参加を促し、組織の足腰強化と活性化に注力

- ・引き続き、学生、若手会員との接点拡大に努め、陵水会に対する啓蒙活動を展開
- ・Next Ryosuiと若手会員との交流を活発化
- ・クラブ、サークル等のOB会と横断的に連携を深めつつ、（特に若手会員の）陵水会との連帯感醸成に注力

(2)年会費納入強化運動の延長と寄付金の取り込みに注力

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024(見込)	2025(目標)
納入者数	2,445名	2,377名	2,136名	2,360名	2,288名	2,472名	3,000名

- ・2016年から開始したコンビニ振込等を継続
- ・新卒者への口座引落申込書の発送を継続
- ・支部総会、同期会、クラブOB会等の場を利用し一層協力を呼び掛け
- ・遺贈資金の獲得について本格的検討

(3)陵水会年報の発行

2025年10月1日付発行を予定

- ・陵水会事業等の概要掲載
- ・年会費納付者・寄付者の掲載

(4)支部活動活性化・支部間格差解消に向けての支援

- ・支部長会議を定例化し、本部と支部の情報共有を強化
- ・支部助成金の交付（支部総会を開催した支部に交付）
- ・支部総会開催支援（開催祝金の支給）及び本部役員の出席を依頼
- ・支部総会講演援助（講師謝礼補助金の支給）
- ・支部総会案内状発送時のサラト名簿購入代金の支援（基本料金（年1回）を支給）

(5)全国陵水会計人会連合会への支援

- ・全国陵水会計人会連合会の活動支援

(6)陵水会同期会の奨励開催

- ・事務局への事前連絡と終了後の年報報告を前提に祝金（1万円）支給

(7)第16回陵水会ゴルフコンペの開催

日時：2025年6月6日（金）

場所：彦根カントリー倶楽部

当番：名古屋支部